

第4期日野市食育推進計画 パブリックコメント意見一覧

No.	テーマ	ご意見（原文のまま）	市の考え方	計画への反映
1	基本目標1 食からの健康づくり を推進します	12ページの食育アンケートを見て、毎日350gの野菜を食べている人、毎食野菜を食べている人が少ないことを知りました。私自身も積極的に野菜を食べようとは思っていますが、1日の摂取量はやはり少なく、350gは満たしていないと感じています。「ベジ活350～両手山盛りいっぱい」をキャッチフレーズは目標の摂取量も一緒に覚えられ、意識できる言葉だと感じました。高齢者や子供たちはもちろん、妊婦さんも十分な栄養の摂取が大切になってくると思うので、妊婦さんにも働きかけ、すべての人が健康な生活を継続できるようになることを願っています。今回の食育推進計画を見て、私も今まで以上にバランスの良い食事を心がけようと思いました。	ご意見ありがとうございます。妊娠期は、食生活を見直すきっかけとなる重要な時期と考えており、妊娠期の方を対象とした教室において野菜摂取等について声かけを行っております。引き続き、すべてのライフステージで健全な食生活が実践できるよう取組みを進めていきます。	市の考え方は左記の通りで、ご意見として受けとめさせていただき、計画素案の変更等はありません。
2	基本目標1 食からの健康づくり を推進します	食は人の心身健康ととても密接に関わりあうものであると感じます。そのため、このように食と健康に対しての意識を向上させる取り組みはとても重要であると感じました。また、妊婦にとって食生活は母体にとっても胎児にとってもとても大切であり深く関りがあります。しかし妊婦に対して目標がないため、妊婦がより健康的で正しい食生活を送るための目標を立てていただきたいなと感じました。	ご意見ありがとうございます。妊婦に対する目標は素案に掲載しておりませんが、栄養講座や個別支援を通じて妊婦が健全な食生活を身に付けられるよう取組みを進めていきます。	市の考え方は左記の通りで、ご意見として受けとめさせていただき、計画素案の変更等はありません。
3	基本目標1 食からの健康づくり を推進します	日野市では、食育に力を入れていることがよくわかりました。特に印象的であったのは、市民に寄り添って計画を進められているということです。離乳食教室では不安に思っているお母さんに寄り添って行う大切さがわかりました。また、離乳食教室だけでなく、妊娠されている方や妊娠を考えている方への教室があればいいなと思いました。特に不妊治療などで不安に思われている方も多いと思うため寄り添う支援があればいいなと思いました。また、若者への情報発信にSNSを活用し進められていくとのことですが、その際には大学と連携されるのはいかがでしょうか？Twitterなどの情報であると、なかなか新しく見てくれる人は少ないと思うため、新入生が入学する4月などにチラシなどを作成し配布すると効果的であると考えられます。	ご意見ありがとうございます。現在も妊娠期の方を対象とした教室を開催し、栄養についての支援を行っています。不妊治療などで不安に思われている方に対する支援については、関係する部署に共有させていただきます。若者への情報発信については、学生の皆様のご意見等も参考にしながら取組みを進めていきます。	市の考え方は左記の通りで、ご意見として受けとめさせていただき、計画素案の変更等はありません。
4	基本目標1 食からの健康づくり を推進します	日野市は特に食育に力を入れていることがよく分かった。食育の対象も子供だけでなく、コロナを機に高齢者も対象となった点がよいと思った。ベジ活350の活動も一般人に伝わりやすくするため、両手山盛りいっぱいと表記してわかりやすかった。子供にとっても高齢者にとっても「共食」は大切なのだ分かった。	ご意見ありがとうございます。キャッチフレーズなどを活用し、市民の皆様に分かりやすい食育の取組みを進めていきます。	市の考え方は左記の通りで、ご意見として受けとめさせていただき、計画素案の変更等はありません。
5	基本目標1 食からの健康づくり を推進します	そして今若い人達は心にゆとりがない様に見えます。歩きながらの食事（オニギリ、パン等）している人をよく見掛けます。規則正しい生活とバランスの取れた食事を取ることで生活習慣病が減少するのではないのでしょうか。食品グループのパンフレット及びベジ活350 1日の野菜摂取量のチラシを作成し、直売所等に掲示したり、公報での特集を組み、多くの市民に知らせたいのでは？	ご意見ありがとうございます。食品グループや野菜摂取等チラシの掲示については、直売所等も活用させていただきながら、広く市民の皆様にも活用していただきながら、健全な食生活について考える機会を持っていたらいいよう取組みを進めていきます。	市の考え方は左記の通りで、ご意見として受けとめさせていただき、計画素案の変更等はありません。

No.	テーマ	ご意見（原文のまま）	市の考え方	計画への反映
6	基本目標1 食からの健康づくり を推進します	コロナ禍により時代が大きく変わっている世の中で食育活動もオンライン化が増えてよいと思います。オンライン化でも家から安心して栄養相談など行うことはコロナをあけても続くと思います。なので、この取り組みは続けてもらいたいです。少しコロナウイルスが収まっている現状の中、少しずつ対面の事業も展開されているということなので、食育の新たな在り方を考えていかなければならないと思います。 「5. 計画の進行管理と評価」のところで、1番考えていかなければならないことが「1日あたりの野菜摂取量が350g以上の人の割合（市民）を40%にしていくことが目標」とあり、日野市だけではなく日本全体が抱える課題だと考えています。そのため、長い年月はかかると思いますが、食育を通じて目標値に近づけていってほしいです。	ご意見ありがとうございます。 コロナ禍をきっかけに進んだオンライン化ですが、今後も食育の手法のひとつとして継続していきます。また、新たな食育の在り方についても食育推進会議において検討を進めてまいります。 国民的課題となっている野菜摂取の不足については、国・東京都とも連携しながら取組を進めていきます。	市の考え方は左記の通りで、ご意見として受けとめさせていただき、計画素案の変更等はいりません。
7	基本目標2 食を通じて、豊かな 心を育てます	第1章の計画の概要の5. 計画の進行管理と評価について 料理を手伝う子供を5年間で100%に近づけると書かれているがこれは料理を作る時間帯で親がいることが前提となってしまうのではないのでしょうか。親が共働きで家に普段からいない子供に向けてはどう対策していくのかわからないと思いました。また、高校生でこの話を仮定すると学校と部活動後に家に帰ると遅い時間帯になってしまうと思います。学生は毎日学校の課題に追われているのに料理を手伝うのは難しいのではないかと思います。具体的な対策はどのように考えていますか。	ご意見ありがとうございます。 P7評価指標の「家で食事の手伝いをしている子ども」については、小中学生を想定していますが、料理をすることだけでなく、テーブルの準備や後片付けなど「食」に関わる機会を持つことが重要であると考えています。 具体的な対策としては、基本目標2（1）②食育の普及啓発 おたよりやホームページ、給食試食会などを通じ、家庭における食育の大切さ（健全な食生活、食を通じたコミュニケーションなど）を保護者・子どもに伝えていきます。	市の考え方は左記の通りで、ご意見として受けとめさせていただき、計画素案の変更等はいりません。
8	基本目標2 食を通じて、豊かな 心を育てます	子供たちの食育についてとても興味があり、説明を聞き、子供に対する食育に日野市はほかの市よりも特徴があることを学びました。私自身がもし親の立場であれば、安心して子供を送り出せる環境はとても良いと思ったためこれからも続けてほしいです。	ご意見ありがとうございます。 子ども達を含め、すべてのライフステージで食育が浸透するよう取組を進めていきます。	市の考え方は左記の通りで、ご意見として受けとめさせていただき、計画素案の変更等はいりません。
9	基本目標2 食を通じて、豊かな 心を育てます	小学生の頃からの習慣が今後の生活に影響を与えると思うので、子供の食育に重点を置いていのはとてもいいと思いました。 ですが保護者ができていないと根本的に解決しないので保護者に向けることも大切だと思う。	ご意見ありがとうございます。 ご意見のとおり、子どもは保護者から受ける影響が大きいと認識しています。子どもへの働きとともに、保護者に対しても食育の大切さを伝えていきます。	市の考え方は左記の通りで、ご意見として受けとめさせていただき、計画素案の変更等はいりません。
10	基本目標2 食を通じて、豊かな 心を育てます	保育園や小学校、給食の取り組みが多いように思えたので高校生や大学生も対象とした取り組みがもう少しあるとよいと思います。特に高校生から外で食べたり、部活動で忙しくなったり、食生活が乱れてくると思うので、そこを対象とした計画があるとよいと思いました。	ご意見ありがとうございます。 義務教育終了後の若い世代の方にも食育に興味を持ち、健全な食生活を送っていただけるよう周知啓発を進めていきます。	市の考え方は左記の通りで、ご意見として受けとめさせていただき、計画素案の変更等はいりません。
11	基本目標2 食を通じて、豊かな 心を育てます	食文化の継承のところで郷土食、行事食を給食に取り入れるのではなく、実際に作るのを取り入れたらするとよいと思います。例えばですが、地域の人にも協力してもらい、一緒に何かつくみたいなのがあれば地域の様々な世代の方との交流も増えるのでより深く継承できると思いました。	ご意見ありがとうございます。 →P33〈学童期・思春期〉食文化の継承ができる地域力を取り入れた行事を行います。で取組みます。 コロナ禍にあっては、集まって食事を作ったり食べたりすることが難しい状況ですが、地域の多世代の方との交流は食文化の継承に繋がると考えています。工夫しながら、取組が再開できるように努めていきます。	市の考え方は左記の通りで、ご意見として受けとめさせていただき、計画素案の変更等はいりません。

No.	テーマ	ご意見（原文のまま）	市の考え方	計画への反映
12	基本目標3 食の循環を通し、食 に向き合う意識を育 てます	P.26ページ 施策の方向性に関して、食品ロス削減を推進しますとありますが、 具体的にどのような取り組みをされているのか、今後どのように 推進していくのかについて知りたいと思いました。	ご意見ありがとうございます。 保育園・学校給食の食へ残しを減らす取組みを進めるほか、広く 市民に向けて、食品ロス削減について周知啓発を行います。	素案P38 （3）食品ロス削減を推進します の「取組内容」をご参照ください。
13	基本目標3 食の循環を通し、食 に向き合う意識を育 てます	P36 ひのっ子シェフコンテスト 自分たちで、給食の献立を考えて実際に作るの、楽しみながら食育ができてよと思った。 実際に採用された献立を、給食のメニューに取り入れるのも、市内で行う企画だからこそ行え ることだと思った。子供の発想力も身につくと感じた。	ご意見ありがとうございます。 子ども達が楽しみながら食育に取り組むことで、食への関心を高 めることができるよう、「ひのっ子シェフコンテスト」を継続し ていきます。	市の考え方は左記の通りで、ご意見 として受けとめさせていただき、計 画素案の変更等はいりません。
14	基本目標3 食の循環を通し、食 に向き合う意識を育 てます	P37 農業体験 農業はやる機会が減多にないために、農業体験をおとして、農業に触れることができるのは、 よい経験になると感じた。 スーパーで売られている食材しか目にしない子供にとっては、野菜がどのように育って、収穫 ができるのか、理解することもできると感じた。	ご意見ありがとうございます。 農業体験を通して食の大切さを伝えられるよう、市民が農業に触 れる機会づくりを進めていきます。	市の考え方は左記の通りで、ご意見 として受けとめさせていただき、計 画素案の変更等はいりません。
15	基本目標3 食の循環を通し、食 に向き合う意識を育 てます	基本目標3食の循環を通し、食に向き合う意識を育てる 地産地消を推進しますという中で、給食での日野産食材の使用率25%を目標にし、それを達 成している点がとても素晴らしいと感じました。 給食を通して地元で育てられた食材を食べられるというのは食育の観点からとてもよいと思 います。 小さいころから食に関心を持ってもらうということは大学の中で学んでいてとても重要なこと であると実感しています。 ぜひ今後も続けてほしいと思います。	ご意見ありがとうございます。 幼少期から食に関心を持ってもらえるよう、地産地消の取組みを 進めていきます。	市の考え方は左記の通りで、ご意見 として受けとめさせていただき、計 画素案の変更等はいりません。
16	基本目標3 食の循環を通し、食 に向き合う意識を育 てます	フードロス削減の重要性や市民の方の関心が高いということがわかりました。実際に、子供た ちに幼いころから食べ物大切さを知ってもらうための工夫がされた計画が立てられていてよ いと思いました。また、フードロスは家庭内だけではなく小売店やメーカーなどでも問題と なっていることなので、そういった生活とは離れた場所での実情を知ってもらう機会を小学生 の高学年の生徒には取り入れたらよいのではないかと思います。	ご意見ありがとうございます。 子ども達にとって身近な「保育園・学校給食の食へ残しを減ら す」取組みと合わせて、おたより等を通して「食品ロス削減の 周知啓発」にも取り組んでいきます。	市の考え方は左記の通りで、ご意見 として受けとめさせていただき、計 画素案の変更等はいりません。
17	基本目標3 食の循環を通し、食 に向き合う意識を育 てます	個人的には農業体験に興味があります。しかし、今まで日野市に住んでいて、どのような場所 で情報を得ればいいのか分からなかったため、掲示板を活用していただきたいです。日野市の 市役所の近くには多くの掲示板があると思います。授業の一環で大学周辺の掲示板を調査した ところ、食に関する張り紙が一枚も無かったためぜひイベントへの参加の周知や食育だよりな どを張るなどにご活用されてはいかがでしょうか？ ぜひ今後、大学生の私でも参加できるイベントがあれば活用させていただきたいです。よろし くお願いいたします。	ご意見ありがとうございます。 広報やホームページだけでなく、掲示板の活用も周知の手段のひ とつとして検討していきます。 市ではLINEでの情報発信も進めています。ぜひ登録をお願いし ます。	市の考え方は左記の通りで、ご意見 として受けとめさせていただき、計 画素案の変更等はいりません。

No.	テーマ	ご意見（原文のまま）	市の考え方	計画への反映
18	基本目標3 食の循環を通し、食 に向き合う意識を育 てます	日野市が食育に力を入れた地域であることは知っていましたが、第4期日野市食育推進計画をみて、地産地消に対する取り組みやライフステージに合わせた食育の推進を積極的に行っていることが改めて分かった。 特に日野っ子シェフコンテストは、地産地消に対する取り組みに加え、子供たちの食への関心を高めるとともに主体性や創造性を育む大変有意義な活動であると感じた。	ご意見ありがとうございます。 地産地消とあわせて、子ども達の食への関心が高められるよう、「ひのっ子シェフコンテスト」を継続していきます。	市の考え方は左記の通りで、ご意見として受けとめさせていただき、計画素案の変更等は行いません。
19	基本目標3 食の循環を通し、食 に向き合う意識を育 てます	日野市では長期に亘り学校給食に地場産野菜の納入を行い、ここ数年で目標値25%以上を達成することが出来ました。これには農家の努力のたまものですが、良品ばかり扱うのではなく、不ぞろいの物でも納入出来ればもっと目標値が上がるのではないのでしょうか。 畑でのデキ処分はもったいないので、何とか処分出来る方法を考え、食品ロスをなくす様にしたいです。	【事務局】 ご意見ありがとうございます。 学校給食における地場産野菜の取り扱いについては、関係する部署に共有させていただきます。	市の考え方は左記の通りで、ご意見として受けとめさせていただき、計画素案の変更等は行いません。
20	基本目標3 食の循環を通し、食 に向き合う意識を育 てます	また、取組指標でファーマーズセンターでの食農体験事業で、現在年13回行っている件ですが、R8年には40回の目標値にしていますが、農業者が仕事をさいての教育はかなりハードに思われます。今、実際に打合せ含め月4回の実施（打合せ2回、実習2回）行っていますが、天候に左右されてしまい、自分自身の作業が手づまりになってしまう事が多いので、目標値をもう少し減らしたらどうでしょうか？	【事務局】 ご意見ありがとうございます。 年40回の目標値は、食育推進計画と連携関係にある「第3次日野市農業振興計画・後期アクションプラン」での目標値です。食育推進計画では、目標値を目指した関係機関の取組みについて評価します。	市の考え方は左記の通りで、ご意見として受けとめさせていただき、計画素案の変更等は行いません。
21	基本目標3 食の循環を通し、食 に向き合う意識を育 てます	日野市では、農業への支援が厚く、また市内農業の市民による理解促進を食育の一つとして捉えて具体的な取り組みが多くなされていることは大変素晴らしいと思います。特に給食での市内農産物の利用率の高さを見ても、市内の子どもたちに提供できる機会が多いことは嬉しく思います。 一方で、アンケート結果では、市内の農産物を購入したことがない人が3割にのぼり、そのような情報を求めている人がいるにも関わらず（p.14図5）市内産の農産物がどこで買えるのかの認知が広まっていないことを残念に思います。 さらなるPRや、より幅広い世代にアプローチできるような販売機会・場所の拡大が必要かと思えます。	【事務局】 ご意見ありがとうございます。 連携関係にある「第3次日野市農業振興計画・後期アクションプラン」でも日野産野菜販売箇所の増加を目標に掲げています。 いただいたご意見は関係する部署に共有させていただきます。	市の考え方は左記の通りで、ご意見として受けとめさせていただき、計画素案の変更等は行いません。
22	基本目標3 食の循環を通し、食 に向き合う意識を育 てます	また、「基本目標3-1(2)農業体験を推進します」に関して、単発的な農業体験による一時的で表面的な農業の理解では、子どもたちに与える効果が薄いと感じます。 農業には、単なる自然体験以上に、科学的な考え方を養ったり、気候変動についてその影響を考えたり、農産物の生産～販売を知ることで経済活動を理解したり、農業を通して社会全体を見ることができる広くて深い産業です。 簡単な収穫体験などでだけではなく、植物の観察などの自然科学的な学習や、疑似販売体験などの社会科学的な学習の機会を提供することも可能だと思います。 例えば、教育のプロの方と連携し、農業を利用した教育プログラムなどを作り込んだうえで学習をすることで子どもたちの生きるちからを養ったり、より深く農業というものを体感し、その重要性を感じることが出来る可能性があります。 そういったプログラム開発も、検討できないものでしょうか。 農業者としても、都市農業ならではの新たな事業として取り組んでみたいですね。	ご意見ありがとうございます。 農業と教育のコラボレーションについては、食育単体で進められるものではなく、他の計画とタイアップして進める必要があると考えています。食育は、そのきっかけとして農業体験機会の提供を行っているところです。 いただいたご意見については、関係する部署に共有させていただきます。	市の考え方は左記の通りで、ご意見として受けとめさせていただき、計画素案の変更等は行いません。

No.	テーマ	ご意見（原文のまま）	市の考え方	計画への反映
23	基本目標3 食の循環を通し、食 に向き合う意識を育 てます	<p>食べることは、人を良くすると書く。また、人間が生活するうえで欠かすことのできない活動で、生活を豊かにすることの出来る活動でもある。学校教育、社会教育、生涯教育の観点からも、食育が推進されるような計画にしていきたい。</p> <p>1.全ての小中学校に、コンポストを設置する。（全ての小学校でコンポストについて学習する）</p> <p>2.食の循環システムをつくる</p> <p>①市内の小中学校にコンポストを設置し、調理の過程で出た生ごみを投入し、たい肥を作る。</p> <p>②そのたい肥で、学校園や、地域の農業で野菜づくりを行う。</p> <p>③学校から出たたい肥で出来た野菜を、給食で児童、生徒が食べる。</p> <p>3.食育と、環境教育を繋ぐべく、生活科や、総合的な学習の中ですべての学校で日の独自の教育を行う。（例えば、小学校3年生では、国語の大豆の説明文の発展として、子ども達とどんな物を作りたいか考え、体験する。共通体験としてみそ作りを行う等）</p> <p>4.全ての小中学校にソーラークッカーを</p> <p>小学生理科の太陽の動きの学習の発展学習としても、防災教育の観点からも使うことができる。太陽光で料理が出来ることは感動する。（例：ゆで卵や、学校でとれたサツマイモの調理など）</p> <p>5.食育について、学ぶ機会を保障する</p> <p>小中学校だけでなく、生涯教育、社会教育の観点からも食べるということ、食品添加物のこと、農業について、食品ロスを減らす料理づくりなどの学べる機会を増やす。</p> <p>6.特定の学校だけでなく、日野市独自の食育を</p> <p>7.コーヒーの麻袋から食器洗いや、風呂洗いのスポンジを</p> <p>コーヒー豆の入っていた麻袋の利用として、マイクロプラスチックの出ないように、シュート麻たわしを障がい者施設で作り、販売する。</p> <p>8.障がいのある人や、共働き世帯にもやさしい食の環境づくり</p> <p>市内の小中学校で使用するランチョンマットに使えるものを、市内の障がい者施設で作り、保護者会などで購入できるようにする。もしくは、購入できる店舗を周知する。現在は忙しい共働き家庭などは、100円均一で購入している現状がある。現在は障がい者施設で作っている物がなかなか売れないのは、需要と供給のアンバランスからという面もある。</p>	<p>多くの項目についてご意見ありがとうございます。</p> <p>いただいたご意見については、一つ一つの項目を確認し、日野市の現状の把握しながら、関係する部署と課題を共有していきます。</p>	<p>市の考え方は左記の通りで、ご意見として受けとめさせていただき、計画素案の変更等は行いません。</p>
24	その他	<p>■ 第4期 日野市食育推進計画（素案）について</p> <p>計画策定のベースとして第3期を踏まえ国の「第4次食育推進基本計画」や都の「東京都食育推進計画」に日野市の関連計画との関係との整合性にたって新たに「第4期日野市食育推進計画(令和4年度から令和8年度)」の5年間として策定されることに賛意をいたします。</p> <p>計画推進の体制を「市民との協働」に於いて現状値と目標値を示していますが市民構成の急激な変化も予測され且つ行政予算の状況変化に合致させる手段について実行計画の深堀が必要を感じます。</p> <p>同時に「市民との協働」をどのように求めていくか理解させるか「やさしく説明を」絶えず進めることの付加も望みます。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>市民の皆様にご理解いただけるよう分かりやすい計画を作っていきます。また、やさしい説明を心がけていきます。</p>	<p>市の考え方は左記の通りで、ご意見として受けとめさせていただき、計画素案の変更等は行いません。</p>

No.	テーマ	ご意見（原文のまま）	市の考え方	計画への反映
25	その他	<p>■ 市民活動団体「NPO法人日野人・援農の会」からの意見提案</p> <p>日野市の農業推進基本施策(第3次農業振興計画・アクションプラン)に沿って農業の担い不足を担う活動として「援農ボランティア活動」を行っていますが都市農業を維持する難しさは更に厳しくなっていくものと理解しています。日野市の魅力でもある「水とみどりに環境」の維持について食育計画と農業生産地の維持は一体として考えねばならないものであることを強く感じます。</p> <p>第2章で「日野市の食を取り巻く現状と課題」も詳しく実態が分析されていますが今日までの変化やここ数年の推移予測などを複眼的に表し市民への周知と理解を得る行動にも注視されたい。</p> <p>新型コロナウイルス感染の発症により「ゼロウイルス」の道程は遠く、「ウイルスとの共存」を求める傾向に向くとして緊急リスク対策についても専門家の知見を得る「対策づくり」を推進計画に強調されることを望みます。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>ご指摘のとおり、食育推進計画と農業生産地の維持は一体として考えていくものです。今後も「食育推進計画」は「農業振興計画」と連携しながら進めていきます。</p> <p>また、計画の推進にあたっては、複眼的な視点を持って取り組んでいきます。</p> <p>新型コロナウイルス感染症については、未だ見通しが立っていませんが、コロナ禍においても、国の動向や現状を注視して取り組んでいるところです。今後も、収束後を見据えて取組みを推進してまいります。</p>	<p>市の考え方は左記の通りで、ご意見として受けとめさせていただき、計画素案の変更等はいりません。</p>
26	その他	<p>●パブリックコメントに対する市の姿勢について</p> <p>→このような意見聴取をする場合、市民に事前に広く周知する時間をとること。</p> <p>また、事前の説明会等の場をもって計画の中身をご理解頂くようにすること。（コロナ化でも工夫したいで可能）</p> <p>→募集期間について今回のように年末年始という時期を期間に入れる事、そのものについて、市民に失礼な対応と私は理解します。民間企業では、まずあり得ません。もし、そのような期間を上申しても許可されません。そのような意識があれば最初に市民への募集期間を一番先に考慮した計画作りとなるはずで、市の見解をお聞かせします。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>	<p>市の考え方は左記の通りで、ご意見として受けとめさせていただき、計画素案の変更等はいりません。</p>
27	その他	<p>●素案資料の全般について</p> <p>→今回の計画は、新たな計画でないで、第3期食育推進計画に対する正しい施策の評価検証が行われていないのは、問題であり、それこそが、今回の計画づくりの原点だと思いますが、今からでもまとめてください。</p> <p>そして、そのまとめた部分について追加で計画書に反映してください。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>ご指摘のとおり第3期食育推進計画の検証を行うため、一部のアンケートについて、第3期計画策定時の現状値を追加記載いたします。</p>	<p>本計画の中で検証を行えるよう現状値の解説を追加いたしました。</p>
28	その他	<p>→P6 5. 計画の進行管理と評価の文面部分は、最後の章にもって行った方が、章立てとして適当である。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>	<p>市の考え方は左記の通りで、ご意見として受けとめさせていただき、計画素案の変更等はいりません。</p>

No.	テーマ	ご意見（原文のまま）	市の考え方	計画への反映
29	その他	→P7 の内容は、基本目標等の章として記載することが適当である。 なお、今回の基本目標である評価指標の状況は、第3期計画の現状値と誤差の範囲で変化がないことが重要なポイントであるので、そのことが何でなのかを整理しないと目標値の設定もその実現のための的を得た効果的な施策にならない事を理解してください。	ご意見として承ります。	市の考え方は左記の通りで、ご意見として受けとめさせていただき、計画素案の変更等はいりません。
30	その他	→P8の食育推進アンケート調査は、今回の計画の目標値を達成するためのターゲットに有効な施策を行うためには、必要なターゲットのデータを調査されていなければ適切な対策に繋がらない。 ※ターゲットとは、各評価指標の目標値を達成するための取組施策を受ける人	ご意見として承ります。	市の考え方は左記の通りで、ご意見として受けとめさせていただき、計画素案の変更等はいりません。
31	その他	→P11～12 朝食の欠食の状況についての調査データがありますが、評価指標の目標値を達成するには、「朝食を食べない理由」を明確化し、その対策を行わないとだめであり、そのデータを整理してください。	ご意見として承ります。	市の考え方は左記の通りで、ご意見として受けとめさせていただき、計画素案の変更等はいりません。
32	その他	→P12～13 野菜の摂取の状況についての調査データがありますが、評価指標の目標値を達成するには、「1日あたりの野菜摂取量が350g以上食べない理由」を明確化し、その対策を行わないとだめであり、そのデータを整理してください。 →さらに、「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2食以上食べていない人の理由」と「食料の備蓄をしていない人の理由」のデータも整理してください。 →また、P24までで記載されている「できるだけ家族や仲間とそろって食事をするようにしていない理由」、「平日に一人で食事（夕食）をしている子どもの理由」、「毎日の食事が楽しくない子どもの理由」、「家で食事の手伝いをしていない子どもの理由」と「農業体験を行ったことがない人の理由」、「食材の廃棄や食べ残しを少なくするようにしていない人の理由」のデータも整理してください。	ご意見として承ります。	市の考え方は左記の通りで、ご意見として受けとめさせていただき、計画素案の変更等はいりません。
33	その他	→P19 世代間や地域のつながりが希薄化し、マナー、地域行事や伝統食などの食文化を次世代に受け継ぐ意識や機会が減っていることから、保護者や地域の人々が食文化の継承の重要性を理解し、次世代へ伝えていく必要があります。 という記載がありますが、突然、このような記載をしており、その論拠がどこにもなく、今回の評価指標にもないのでこのような記載は、見直しが必要である。 また、その施策として記載されているP33～34も	ご意見ありがとうございます。 ご指摘のとおり、分かりにくい表現でした。 ご意見を受け、文言を変更します。	「第2章 日野市の食を取り巻く現状と課題 2. 暮らしの変化による食への影響」の文言を修正しました。
34	その他	→P23 このように各計画で食の循環の重要性を伝えていますが、市民アンケートの結果には結びついておらず、市民の地産地消や農業体験の機会づくりを進める必要があります。 という記載がありますが、その論拠（市民の実態）を整理してください。	ご意見ありがとうございます。 ご指摘のとおり、分かりにくい表現でした。 ご意見を受け、文言を変更します。	「第2章 日野市の食を取り巻く現状と課題 3. 食の循環を意識した食生活への対応」の文言を修正しました。

No.	テーマ	ご意見（原文のまま）	市の考え方	計画への反映
35	その他	<p>→P29～39 施策の取組指標の内容のほとんどが、以下の問題があること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各取組指標の目標値を達成するには、そのターゲットの理由をマーケティングされていないこと。（一部のみ） ●上記のターゲットの理由に向けた施策でなく、かつ不特定多数になっていること。 ●取り上げている取組指標の効果が明確化されていないこと。 ●施策取組の推進者側が定量的な効果が分からず漠然とした施策になっていること。 ●各施策について計画期間の各年度ごとの指標を明確化してPDCA評価出来るための計画になっていないこと。 ●各関連施策についても上記の指摘があてはまること。 <p>さらに、</p> <ul style="list-style-type: none"> ●P38 農業体験の促進としての取組指標である「食農体験事業の実施回数」の記載あり、良くわからないので担当課に確認したところ、日野産の農産物を使った料理教室の開催との説明でした。これでは、農業体験ではありません。 <p>以上から本計画の基本目標ごとの評価指標目標値を達成するための計画（取組施策を含め）としては、ヒントハズレの計画書と言わざるを得ない。よって、以上の私の指摘を踏まえ、見直しを節に要望します。</p>	<p>ご意見として承ります。</p> <p>P38 セツ塚ファーマーズセンターにおいて実施する日野産農産物を使った各種料理教室等の食農体験事業については、農業体験のすそ野を広げるものと考えております。</p>	<p>市の考え方は左記の通りで、ご意見として受けとめさせていただき、計画素案の変更等はいりません。</p>